

National
Parks
of Japan



資料 5

次期 5 年間の目標設定の考え方について

2026年3月9日（月）
環境省自然環境局国立公園課

現行の取組方針における目標の達成状況について

2021年以降の取組方針	目標値【2025年まで】	実績値
量に関する指標		
1. 国立公園における訪日外国人利用者数（訪日）	コロナ禍前同等値 （667万人）	988万人(2025年速報値)
2. 国立公園における宿泊者数（訪日・国内合計）	コロナ禍前同等値 （3,744万人）	3,567万人(2024年)

 達成済の項目

※上記のほか、質に関する指標として、目標値の設定は行っていないが、観光や地方誘客に関する国立公園の貢献度、利用者へのアンケートにより各種指標（満足度、推奨意向、支出額、平均泊数、認知度、リピーター率）について、経年で把握。

次期取組方針における目標・指標（案）

次期取組方針における目標（案）	【2030年】 ＜青字：2024年実績＞ ＜赤字：2025年実績＞	【2025年まで】 ＜参考＞ 現行の取組方針の目標	【2030年】 次期観光立国推進 基本計画（素案）の関連目標
国立公園における訪日外国人に関する指標			
1. 訪日外国人利用者数	1,400万人 ＜844万人＞ ＜988万人（推計値・速報値）＞	実績を踏まえ、更新 コロナ禍前同等値 （667万人）	6,000万人 ＜3,687万人＞ ＜4,268万人（推計値）＞
2. 延べ宿泊者数	1,600万人泊 ＜619万人泊＞	個別に設定 コロナ禍前同等値 （国内・国外計3,744万人）	1.3億人泊 （地方部延べ宿泊数） ＜5,086万人＞
3. 推奨意向【新】	90% ＜81%＞ ＜78%＞	設定なし	—
4. 来訪前の国立公園の認知割合【新】	80% ＜64%＞ ＜58%＞	設定なし	—
5. 国立公園を訪れた訪日外国人の平均消費額【新】	30万円 ＜27.0万円＞ ＜26.3万円（速報値）＞	設定なし	25万円 ＜22.7万円＞ ＜22.9万円（速報値）＞
国立公園における日本人に関する指標			
6. 延べ宿泊者数	3,200万人泊 ＜2,932万人泊＞	個別に設定 コロナ禍前同等値 （国内・国外計3,744万人）	3.2億人泊 （地方部延べ宿泊数） ＜3.1億人泊＞
7. 推奨意向【新】	80% ＜63%＞ ＜60%＞	設定なし	—
8. 来訪前の国立公園の認知割合【新】	80% ＜62%＞ ＜61%＞	設定なし	—

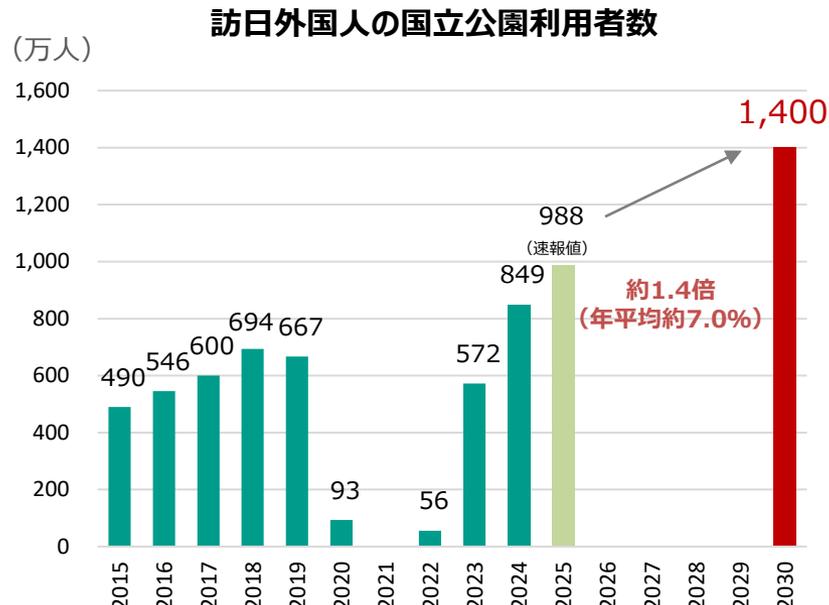
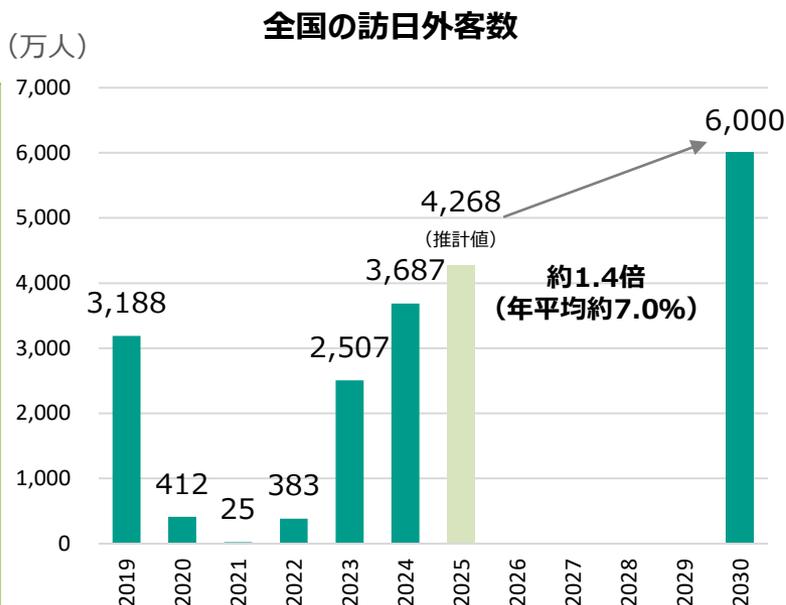
- 地域経済循環に関する指標については引き続き検討
- 取組状況を把握するためのアウトプット指標を設ける
- 各公園ごとの地域別目標を設け、各ステップアッププログラムに位置付ける

目標① 国立公園利用者数（訪日外国人）

2030年目標案 1,400万人〔2025年実績：988万人（推計値・速報値）〕

【考え方】

- 政府目標及びコロナによる影響を受けていない2015年～2019年の年平均成長率や、政府全体の目標設定状況も踏まえ、**1,400万人**を目標とする。
- 全国的には都市部を中心に利用者の集中が見られることから、重要な地域資源である国立公園の魅力を高め、地方分散に貢献する。



目標設定
の考え方
(案)

算出方法

観光庁「インバウンド消費動向調査」に基づき、環境省において国立公園実利用者数を推計

※日本政府観光局（JNTO）データ 確定値：～2024年、暫定値：2025年1-11月、推計値：2025年12月
 ※インバウンド消費動向調査 確定値：～2024年、2次速報値：2025年1-9月期、1次速報値：2025年10-12月期
 2025年以降は、確定値による推計後、値が変動する可能性あり

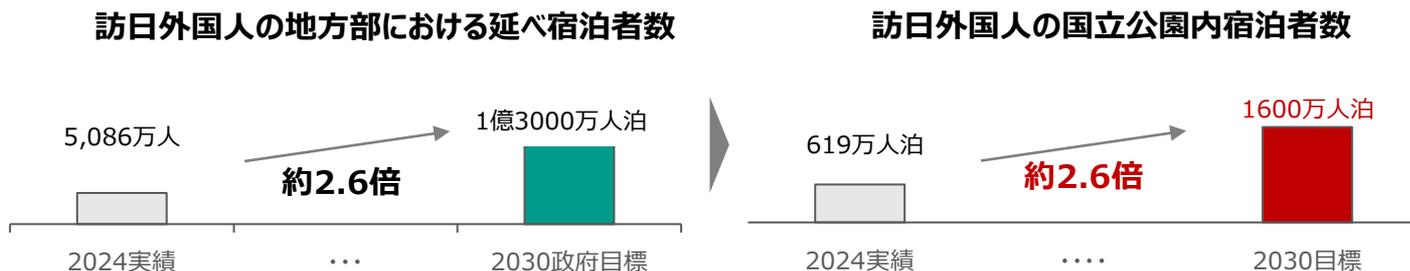
目標②延べ宿泊者数（訪日外国人）

2030年目標案 1,600万人泊〔2024年実績：619万人泊〕

【考え方】

- 政府目標も踏まえ、2030年目標を**1,600万人泊**を目標とする。
- 交通や多言語対応など、満足度を向上させるとともに、国立公園ならではの滞在体験を提供できる環境を整えることにより、訪日外国人の長期滞在を促進する。

目標設定の考え方（案）



過年度実績

（万人）	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
訪日外国人の国立公園内宿泊者数	567	539	101	8	49	454	619

算出方法

観光庁「宿泊旅行統計調査」に基づき、環境省において国立公園内宿泊者数を推計

※国立公園内の宿泊者数は、観光庁「宿泊旅行統計調査」の確定値を利用して推計

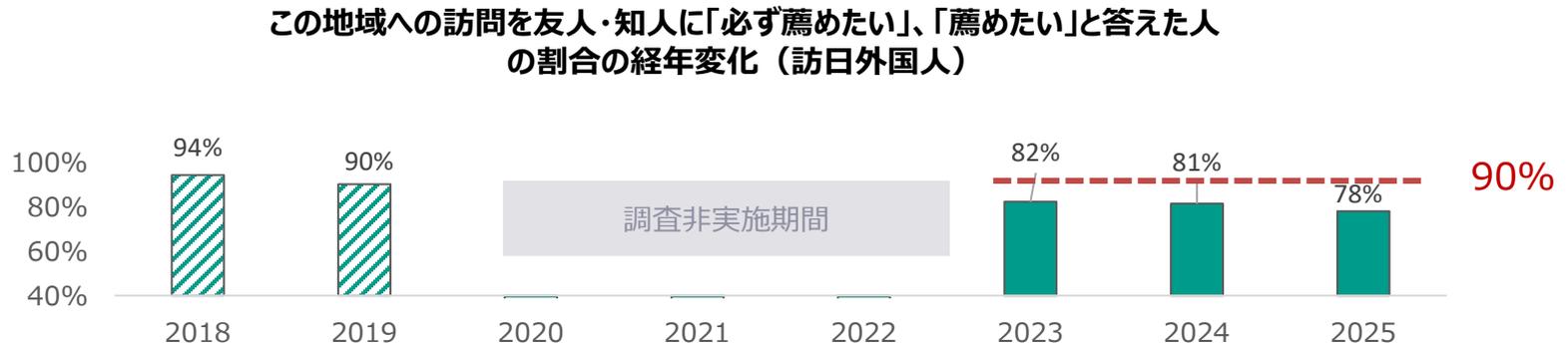
目標③ 推奨意向（訪日外国人）

2030年目標案 **90%**〔2025年実績：78%〕

【考え方】

- 現行でも78%と一定の推奨意向があるが、更なる上昇を目指す。
- 利用拠点の磨き上げや満足度の低い事項への対応、インナーブランディング等を通じた地域の魅力向上に取り組むことにより、推奨意向の向上に繋げる。

目標設定の考え方（案）



※2019年以前と2022年以降は調査手法が異なるため、単純比較はできない。

算出方法

環境省WEBアンケート調査「この地域への訪問を友人・知人に薦めたいですか」において、7段階評価のうち、上位2項目（必ず薦めたい、薦めたい）と回答した人の割合

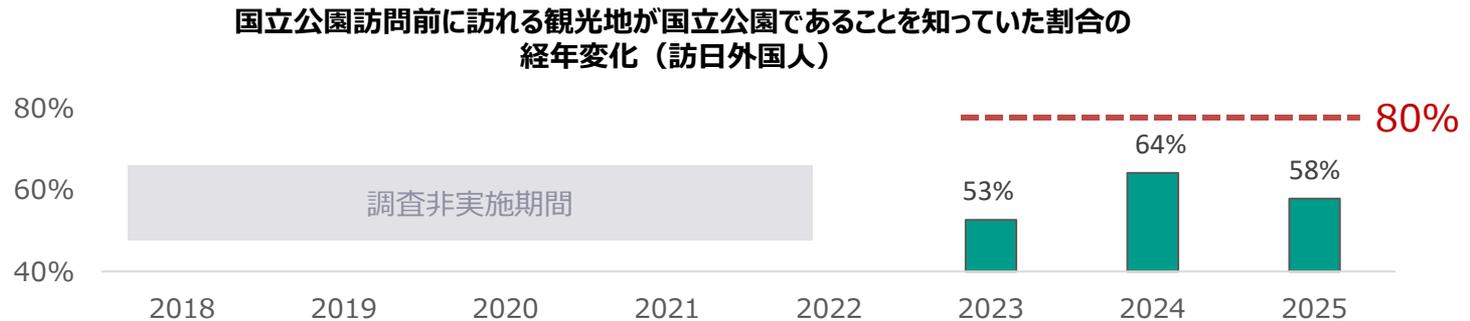
目標④ 国立公園としての認知度（訪日外国人）

2030年目標案 80%〔2025年実績：58%〕

【考え方】

- 現状値（訪日外国人58%）を踏まえ、更なる上昇を目指す。
- 国立公園における利用拠点の充実や自然体験アクティビティの充実等を通じた各国立公園の魅力向上、ブランディングを図るとともに、戦略的なプロモーションに取り組むことにより、訪日外国人に対する訴求力を高める。

目標設定の考え方（案）



算出方法

環境省WEBアンケート調査「訪れた観光地を国立公園だと認識したタイミングはいつか」のデータについて、全訪問者のうち、「訪問する前に、WebサイトやSNSなどで知った」または「旅行の検討段階から国立公園に訪問することを目的としていた」と回答した割合より算出

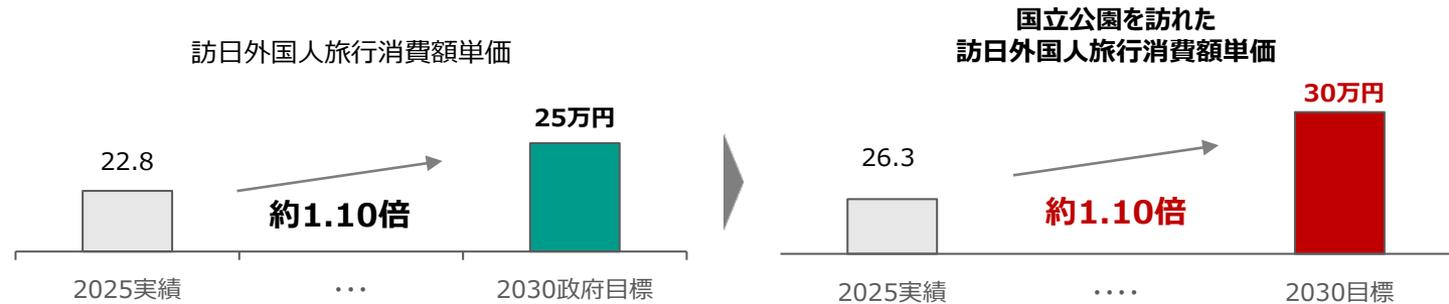
目標⑤ 平均消費額（訪日外国人）

2030年目標案 30万円〔2025年実績：26.3万円〕

【考え方】

- 政府目標も踏まえ、インバウンド消費額の持続的な拡大及び地域経済への貢献を図るため、国立公園を訪れた訪日外国人旅行者1人当たりの消費額を**30万円**に引き上げることを目指す。
- 自然体験コンテンツの造成や、魅力的な宿泊施設の誘致、長期滞在の推進を通じた高付加価値化を図ることにより、消費単価の向上を図る。

目標設定の考え方(案)



算出方法

観光庁「インバウンド消費動向調査」に基づき、環境省において推計。

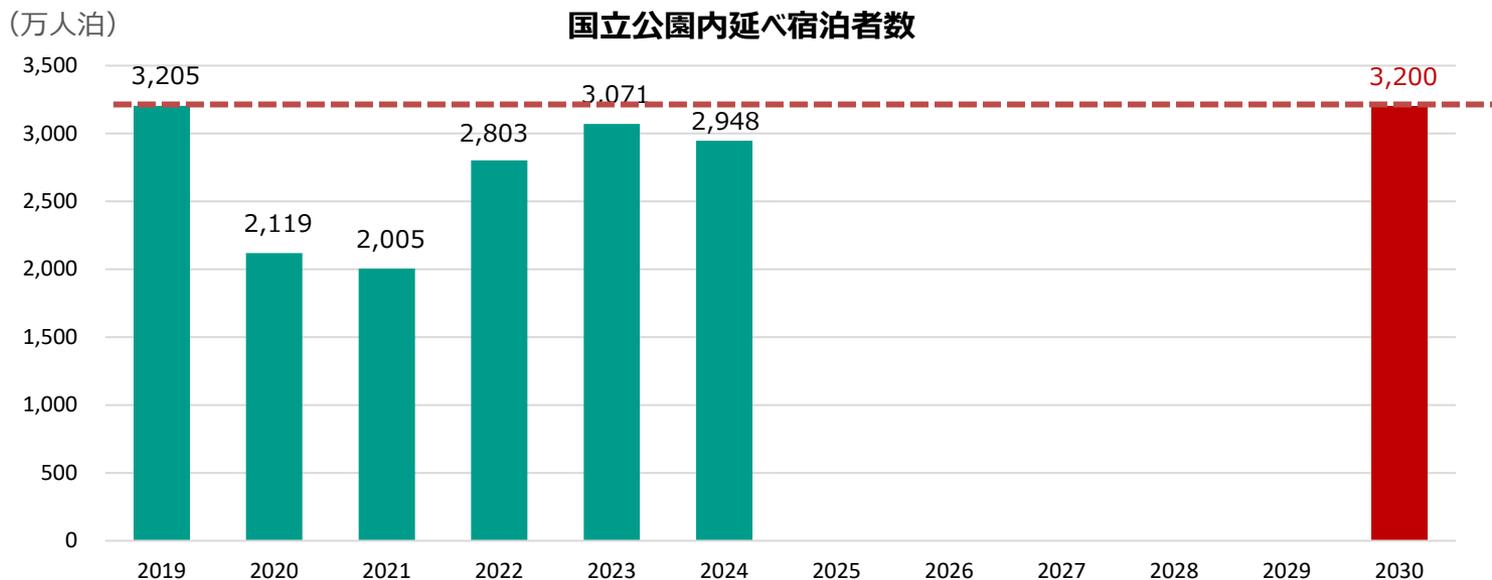
※インバウンド消費動向調査 2次速報値：2025年1-9月期、1次速報値：2025年10-12月期
確定値による推計後、値が変動する可能性あり

目標⑥ 国立公園内延べ宿泊者数（日本人）

2030年目標案 3,200万人泊 [2024年実績：2,948万人泊]

【考え方】

- 日本人の延べ宿泊者数は、人口減少の影響等により、減少傾向にある。国立公園の魅力向上、プロモーションに取り組むことにより、引き続き2019年同の3200万人泊を目指すことを目標とする。



目標設定
の考え方
(案)

算出方法

観光庁「宿泊旅行統計調査」に基づき、環境省において国立公園内宿泊者数を推計

※国立公園内の宿泊者数は、観光庁「宿泊旅行統計調査」の確定値を利用して推計

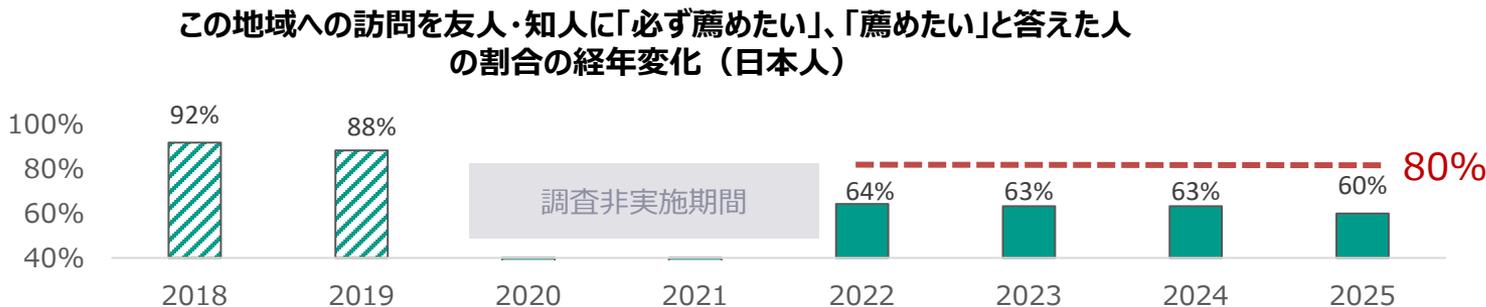
目標⑦ 推奨意向（日本人）

2030年目標案 80%〔2025年実績：60%〕

【考え方】

- 現行では、64%と、訪日外国人に比較して低い傾向にある。
- 利用拠点の磨き上げや満足度の低い事項への対応、インナーブランディング等を通じた地域の魅力向上に取り組むことにより、推奨意向の向上を図る。

目標設定の考え方（案）



※2019年以前と2022年以降は調査手法が異なるため、単純比較はできない。

算出方法

環境省WEBアンケート調査「この地域への訪問を友人・知人に薦めたいですか」において、7段階評価のうち、上位2項目（必ず薦めたい、薦めたい）と回答した人の割合

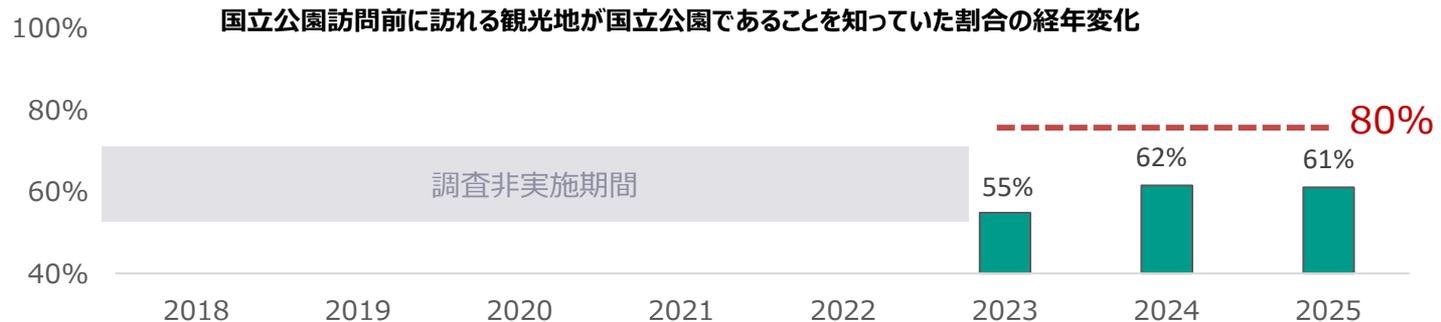
目標⑧ 国立公園としての認知度（日本人）

2030年目標案 80%〔2025年実績：61%〕

【考え方】

- 現状値（日本人61%）を踏まえ、更なる上昇を目指す。
- 国立公園における利用拠点の充実や自然体験コンテンツの充実等を通じた各国立公園の魅力向上、ブランディングを図るとともに、戦略的なプロモーションに取り組むことにより利用者に対する訴求力を高める。

目標設定 の考え方 (案)



算出方法

環境省WEBアンケート調査「訪れた観光地を国立公園だと認識したタイミングはいつか」にて取得
全訪問者のうち、「訪問する前に、WebサイトやSNSなどで知った」または「旅行の検討段階から国立公園に訪問
することを目的としていた」と回答した割合より算出

(参考) その他の指標について

① 地域経済効果・観光人材給与等に係る指標について

- 観光人材の給与については、観光庁のDMO登録制度において、必須要件としての指標の一部に経済波及効果（KGI）及び観光事業者の平均給与額（KPI）が設けられているところ。
- 満喫プロジェクトの推進を図る各地域協議会においてDMOと連携を図っていることから、各DMOの意向も踏まえ、各協議会の参考指標として活用可能か、引き続き検討を進める。

② その他の指標について

- 毎年の経過を踏まえ、進捗を図るための必要な指標について検討を行う。